

小学校・義務教育学校前期課程

平成29年度全国学力・学習状況調査の 結果をふまえた指導改善策

I 調査の概要

1. 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- 上記のような取組みを通して、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査の対象

小学校第6学年及び義務教育学校第6学年の児童

3. 調査の内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数）
 - ・主として「知識」に関する問題（A）
 - ・主として「活用」に関する問題（B）
- (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・児童に対する調査
 - ・学校に対する調査

4. 調査日時

平成29年4月18日（火）

1時限目 (各20分)	2時限目 (40分)	3時限目 (40分)	(20分程度)
国語A・算数A	国語B	算数B	児童質問紙

5. 調査実施学校数等

調査実施学校数	対象者数
8校	304名

Ⅱ 学力調査の結果【小学校】

1. 教科に関する調査結果（平均正答率※）

	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B
全 国	74.8	57.5	78.6	45.9
広島県	77	61	81	47
府中市	78	62	83	48

平均正答率とは、「児童の正答数の平均」÷「設問数」の値を、%で表わしたものです。

2. 調査問題の趣旨・内容

区分	調査問題の趣旨・内容例
国語 A (15問)	<p>基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題。</p> <p>(例)○互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合う。 ○目的や意図に応じて、内容の中心を明確にして、詳しく書く。 ○目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読む。 ○ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる。</p>
国語 B (9問)	<p>基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題。</p> <p>(例)○目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話す。 ○目的や意図に応じて、必要な内容を整理して書く。 ○物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめる。</p>
算数 A (15問)	<p>基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題。</p> <p>(例)○1より小さい小数をかける乗法の問題間面を理解し、それぞれの数量が数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ。 ○任意単位による測定を基に比較しているものを選ぶ。 ○円を使って正五角形をかくとき、円の中心のまわりの角を何度ずつに分割すればよいかを書く。 ○二次元表の合計欄に入る数を書く。</p>
算数 B (11問)	<p>基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題。</p> <p>(例)○二つの数量の関係を一般化して捉え、そのきまりを記述する。 ○料金の差を求めるために、示された資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを記述する。 ○示された式の中の数値の意味を、表と関連させながら解釈し、それを記述する。 ○身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述する。</p>

3. 調査結果にみられる府中市の特徴

【国語A】

正答率 上位3問				正答率 下位3問			
問題		市	全国	問題		市	全国
言	◇漢字を読む (指示)	97.7	94.5	言	◆漢字を書く (参加タイショウ)	36.8	42.0
言	◇漢字を読む (申し込み期限)	97.0	94.5	書	◆手紙の後付けに必要な 日付、署名、宛て名のそ れぞれの位置について、 適切なものを選択する	40.8	41.5
言	◇ことわざの使い方の例と して適切なものを選択する (三度目の正直)	91.4	90.0	読言	◆グループの話合いを通 して見付けた俳句のよ さとして適切なもの を選択する	58.9	57.0

【国語B】

正答率 上位3問				正答率 下位3問			
問題		市	全国	問題		市	全国
話聞	◇スピーチの練習の様子を 記録した動画を見る目的 として、適切なものを選択 する	82.9	77.2	読	◆「きつねの写真」を読 んだあとの話合いにお けるア・イの発言の意 図として、適切なもの をそれぞれ選択する	33.9	28.0
書	◇【緑のカーテン作りへの協 力のお願い】における文章 の構成の工夫として当て はまるものを選択する	75.0	70.8	書	◆「水やりに協力してく れる人をば集めます」 の〔 イ 〕に入る内 容を、中学生からの【ア ドバイス】を基に書く	36.2	33.0
読	◇「きつねの写真」を読み、 登場人物の相互関係と場 面についての描写を捉え、 〔 A 〕に当てはまる言 葉として適切なものを選 択する	74.7	75.9	書読	◆「きつねの写真」から 取り上げた言葉や文を 基に、松ぞうじいさん ととび吉がきつねだと 考えたわけをまとめて 書く	52.0	43.7

学習指導要領の領域等

話聞：話すこと・聞くこと

書：書くこと

読：読むこと

言：伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

【算数A】

正答率 上位3問				正答率 下位3問			
問題		市	全国	問題		市	全国
数	◇リボンを2m買ったときの代金と3m買ったときの代金を書く	97.7	96.9	数量	◆二次元表の合計欄に入る数を書く	66.8	62.8
数量	◇出席番号1番の人は二次元表のどこに入るかを選ぶ	93.8	88.0	数	◆買ったリボンの長さと、1m当たりのリボンの値段と代金がそれぞれ数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ	72.0	69.9
数	◇ 60×0.4 を 60×4 を基にして考えるときの正しい積の求め方を選ぶ	91.8	91.0	量	◆示された平行四辺形の面積の半分の面積である三角形を正しく選ぶ	72.7	67.0

【算数B】

正答率 上位3問				正答率 下位3問			
問題		市	全国	問題		市	全国
数	◇示された考えを基に、54-45の場合で残る部分を図に表す	82.9	81.8	図・数量	◆与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけを書く	12.8	13.2
数	◇カードの差が4の場合の、2けたのひき算の式と答えを書く	78.0	76.0	量・数量	◆仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める	23.0	26.1
量・数量	◇飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選ぶ	71.1	67.9	数量	◆学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数の割合を表しているグラフを選ぶ	30.9	29.3

学習指導要領の領域等

数：数と計算

量：量と測定

図：図形

数量：数量関係

4. 今後の指導改善策

【国語】

学習指導要領 の領域	指導改善策
話すこと 聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ○話の構成や内容を工夫するため、自分の立場を明確に説明したり、事実と感想、意見とを区別したり、結論付けを明確にしたりすることなどについて指導する。 ○場に応じた適切な言葉遣いで話すため、声量や速度、抑揚や間の取り方、改まった言葉や丁寧な言葉、敬体と常体との使い分けなど、その場に応じた最も適切な表現の仕方について指導する。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ○手紙の構成や内容を吟味したり、形式を整えたりすることが、相手に対する感謝の思いや敬意を表すことにつながるということを指導する。 ○目的や意図に応じて、簡単に書く場合と詳しく書く場合とを適切に判断することができるようにする。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ○調べる目的や事柄を明確にした上で、本や文章を選び、その中の記述や説明から、課題を解決するために必要な情報を選択することができるように指導する。 ○自分の考えがどの叙述に基づいているのかを明らかにしながら交流することで、自分の考えが明確になるということを見童が実感できるように指導する。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> ○学習した漢字や字形に注意しながら繰り返し書いて練習することのみならず、漢字のもつ意味を考えながら文や文章の中で正しく使うことができるように指導する。 ○同音異義語に注意するなど、漢字のもつ意味を考えて使う習慣を身に付けることができるように指導する。

【算数】

学習指導要領 の領域	指導改善策
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> ○問題を解決する過程で、「計算の意味」と「計算の仕方」を関連付けて、計算の能力を身に付けることができるように指導する。 ○日常生活の問題の解決のために、必要な情報を選択したり、示された方法を数学的に解釈し、問題場面に適用できるか考察し判断したりできるように指導する。
量と測定	<ul style="list-style-type: none"> ○異なる量の比較や測定においても、共通する比較や測定の方法が用いられていることを実感的に理解できるように指導する。 ○日常生活の問題解決のために、データを処理する方法を適切に用いて判断したり、工夫してデータを処理するよさを実感したりすることができるように指導する。
図形	<ul style="list-style-type: none"> ○図形の構成・分解の活動を通して、図形の性質について理解を深めることができるように指導する。 ○図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成の仕方を考察できるように指導する。
数量関係	<ul style="list-style-type: none"> ○数量の関係を一般化して捉え、言葉や式を用いて表現できるように指導する。 ○日常生活の事象を、割合や表、グラフなどを活用して考察できるように指導する。

Ⅲ 学習状況調査（児童質問紙）の結果

1. 肯定的な回答の割合が、全国平均を上回っている設問（上位5問）

(%)

質問項目	府中市	全国	差
◇家で学校の授業の復習をしていますか	82.6	53.8	+28.8
◇今住んでいる地域の行事に参加していますか	88.5	62.6	+25.9
◇家で学校の授業の予習をしていますか	65.2	41.0	+24.2
◇地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	65.5	42.3	+23.2
◇学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか	68.4	50.3	+18.1

2. 全国平均と比較して課題の項目

(%)

質問項目	府中市	全国	差
◆400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか	62.8	59.5	+3.3